

人間社会学部／総合人間社会コース	職名	教授	氏名	森脇 敦史
------------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

憲法学を専攻しており、特に情報と法との関わり合いを中心的な研究課題としている。電子通信技術の発達をもたらす問題に対して、表現の自由という観点から個別事例においてどのような解決を図るべきなのか、またどのような制度設計を行うことが最も適切な権利配分を人々に行うことになるのかということ考察している。

また近年は、アメリカの表現の自由法理が形成された歴史的背景、司法審査の正当化根拠についても研究を進めている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 森脇敦史「ヒューゴ・ブラック 歴史は繰り返すか？」山本龍彦・大林啓吾（編）『アメリカ憲法の群像 裁判官編』145～170 頁、尚学社、2020 年 6 月
- ・ 君塚正臣・森脇敦史（編）『ベーシックテキスト憲法 第4版』法律文化社、2023 年 9 月

②その他最近の業績

<判例研究>

- ・ 森脇敦史「家庭裁判所調査官が自ら担当した事件に関する論文等の公表とプライバシー侵害」新・判例解説 Watch【2021 年 4 月】、日本評論社、2021 年 3 月

③過去の主要業績

- ・ 森脇敦史「言論活動への政府資金助成に対する憲法上の規律」、阪大法学第 53 巻 1 号 113～142 頁、2003 年
- ・ 森脇敦史「図書館に対するフィルタリングの義務づけと今後のインターネット上における表現規制の態様－CDA、COPA、CIPAの事例から－」、阪大法学第 53 巻 3=4 号 393～419 頁、2003 年
- ・ 森脇敦史「キャス・サンステイン リスクと不確実性の憲法学」駒村圭吾・山本龍彦・大林啓吾（編）『アメリカ憲法学の群像 理論家編』255～274 頁、尚学社、2010 年 1 月

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

関西アメリカ公法学会、関西憲法判例研究会、九州公法判例研究会、情報ネットワーク法学会、合衆国最高裁判所判例研究会

6. 担当授業科目

法学・2単位・1年・前期、教養演習・1単位・1年・前期、憲法・2単位・1年・後期、入門・数字で見る日本社会・2単位・1年・後期、社会人基礎力演習・1単位・2年・前期、現代社会論C（情報社会と法）・2単位・2年・後期、問題解決演習・1単位・2年・後期、法律学概論Ⅰ・2単位・3年・前期、公共社会学研究Ⅰ・1単位・前期、法律学概論Ⅱ・2単位・3年・後期、個人情報法制・2単位・後期、公共社会学研究Ⅱ・1単位・後期、卒業論文・6単位・通年、日本事情B（分担）・2単位・留学生・前期、日本事情A（分担）・2単位・留学生・後期

7. 社会貢献活動

田川市情報公開・個人情報保護審議会委員（会長）
築上町個人情報保護審査会委員（会長）
福智町情報公開審査会委員（会長）
福智町個人情報保護審査会委員（会長）
古賀市情報公開・個人情報保護審議会委員
古賀市行政不服審査会委員
玄界環境組合情報公開・個人情報保護審議会委員
玄界環境組合行政不服審議会委員
粕屋北部消防本部行政不服審議会委員
粕屋北部消防本部情報公開・個人情報保護審議会委員
飯塚市政治倫理審査会

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等